

小学生向け食農体験講座：
稲作と芋掘りを中心として

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 静岡大学教育学部 公開日: 2013-04-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 藤井, 道彦 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/7164

れたため、別の日に時間をかけて再度体験してもらったところ、ほとんどの子どもが、わら縄を作ることができた。もち米を用いたため、最後に、精米した米を用いて餅つきを行い、自分たちでついた餅の試食をしてもらった。

サツマイモの芋掘りも、食農体験講座を開催する時季的な制約から、芋掘りからの体験となったが、紫芋も含め 4 種類のサツマイモを植えていたため、茎や葉、掘った芋の色や形などを比べてもらった。収穫した芋は、4 種類を並べて食べ比べてもらった。

それぞれの食農体験においては、希望する大学生に子どもの体験補助をしてもらった。

食農体験講座の様子



2. まとめ

食農体験講座を通して、子どもたちが大変意欲的に興味をもって体験に取り組み、また、体験を通してさまざまな発見をしている様子がみられ、体験を通した食育の重要性を再確認することができた。子どもたちの感想にも、楽しかった、うれしかった、おもしろかったとの感想が多くみられた。また、食農体験を通して感じたこと、気付いたことは、その体験から時間がたった最終回後の全体の感想にも書かれており、体験を通して身に付けたことは、時間が経過しても、子どもの記憶に深く残ってくれているようであった。

食農体験講座の補助をしてくれた学生も、子どもたちの姿や反応に多くの発見をしていたようで、将来教員になるにあたり、貴重な体験となったようである。

今後も、食農体験の教材化について、さらに検討していく予定である。